



加吉だより

加古小学校通信
令和4年7月号
No.12 (285号)

本当にすごい自然学校！

校長 吉田 博明

<「5分前集合」は時間のムダづかい>

よく自然学校や修学旅行で言われる「5分前集合」や「10分前集合」。プログラムを予定通りに進めるために、学校行事では当たり前になっています。でも、今回の自然学校で



は「5分前集合」なんか止めました。プログラムの始まりに全員そろっていればOK。様子を見てみると、5分前になっても、集合場所には誰もいません。2分前でも。1分前になってザッと集まり始め、開始時刻には全員そろって、児童の進行でプログラムが始まります。直前まで部屋で遊んで、時刻になったらサッと始まる。うーん、ムダがない。これこそ「しおり」通り。スムーズに進める子どもたちに感心しきりでした。

<やりたいことは、自分たちでスタッフに交渉！>

プログラムとプログラムの隙間時間。これまでは部屋でゆっくりしなさいと指示を出していました。でも自分たちでつくる自然学校では違います。「大広間で遊びたい。」と、スタッフの方に大広間を貸してもらえよう、子どもたちだけで交渉にいきました。無事OKをもらおうと遊びたい人たちが走り回って遊び始めました。疲れて休みたい人は部屋で休んでいても大丈夫。「やりたいことは自分たちで交渉して勝ち取る」。その姿には感心しました。別の日は、スタッフの方にハチ高原の地図をもらい、空いた時間にそれを見ながら高原散策をしました。その後も、広場で鬼ごっこ。男子も女子もなく、みんな仲良く遊べていて素晴らしいなと、これまた感心。

<信じて、任せて、感謝する>

学校で何度も練習したキャンプファイヤー。みんなで盛り上げようという思いが伝わってきました。それぞれが練習してきたスタンツ。みんな楽しそうにダンスをしたり、ゲームをしたり。先生たちが準備してくれたゲームや思い出のスライドの時には、BGMの音楽に合わせて歌いながら見ていました。キャンプファイヤーの後、「校長先生、一緒に盛り上がってくれてありがとうございました。」とお礼を言われました。そんなことを言われた自然学校は初めてでした。子どもたちを「信じて、任せ」たら、とっても素敵な自然学校になりました。こちらこそ楽しい時間をありがとう。「感謝」の思いでいっぱいです。

